

# 医療資源が限られた地域への 対応について

11月25日  
中医協資料

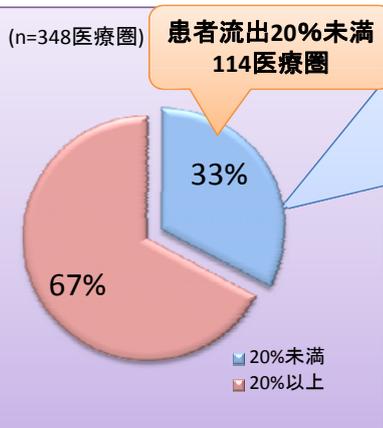
## 医療提供が困難な地域の考え方について(案)

地域に密着した医療提供を行う医療提供が困難な地域等において、下記の観点から地域の条件を検討してはどうか

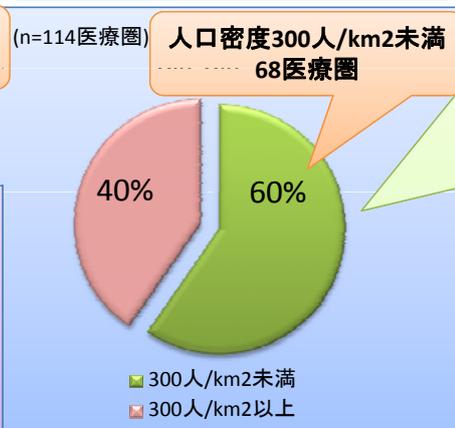
- ① 自己完結した医療を提供している地域
- ② 医療従事者の確保等が困難な地域
- ③ 医療機関が少ない地域

\*ただし特定機能病院等をのぞく

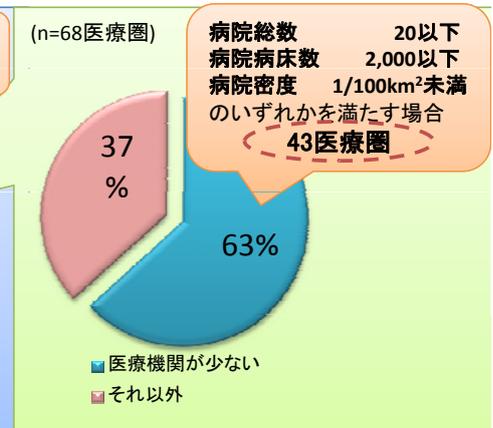
### ①自己完結した医療を提供



### ②医療従事者の確保が困難な地域



### ③医療機関が少ない地域

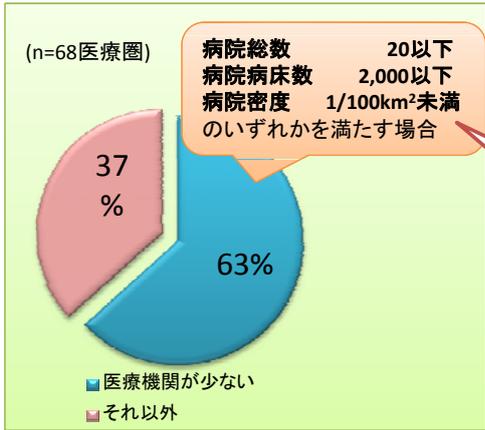


### ①②③を満たす43医療圏

全国の医療圏のうち	12%	全国の人口のうち	6%
全国の病院・病床のうち	7%	全国の面積のうち	21%

# 新たな基準の考え方について(変更案)

## ③医療機関が少ない地域



医療機関が少ない地域として、  
・病院密度(面積当たり)  
・病床密度(面積当たり)  
を基準としてはどうか

病院総数、病院病床数が少なくても、  
面積が小さければ、  
一定程度医療機関の  
数は満たされている  
と考えられる

## (変更案)

### ①自己完結した医療を提供

患者流出20%未満

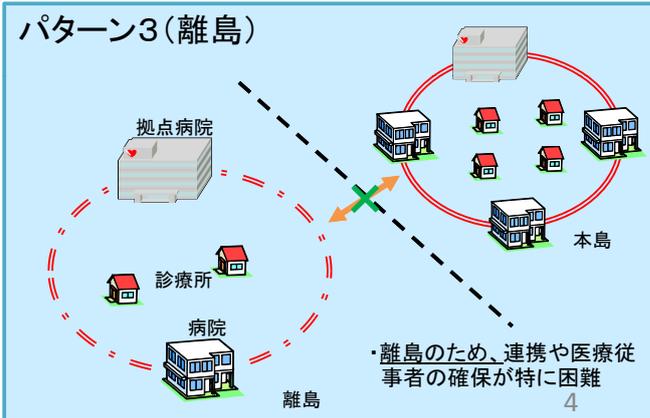
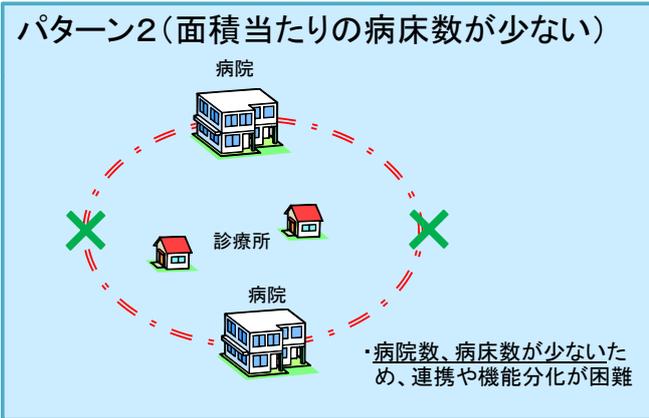
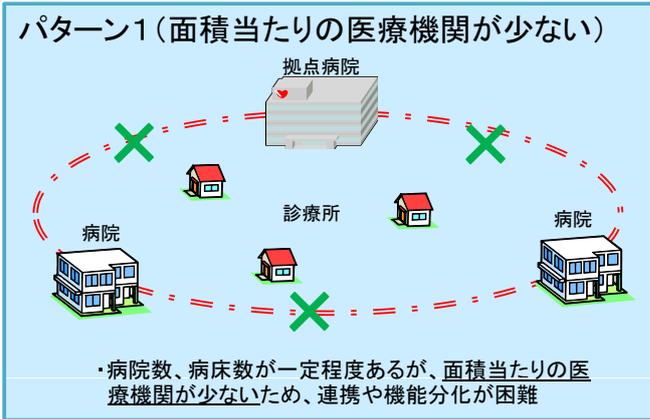
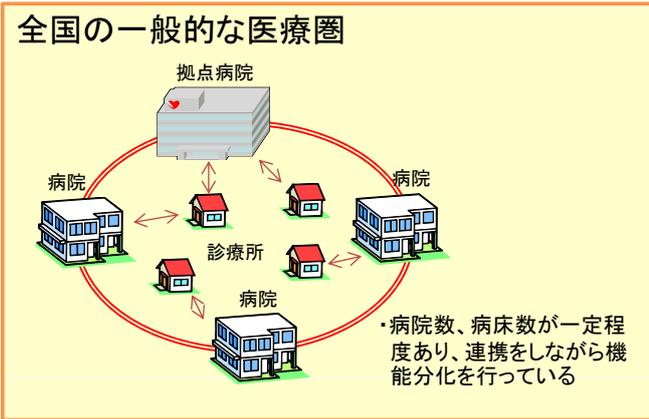
### ②医療従事者の確保が困難な地域

人口密度300人/km<sup>2</sup>未満

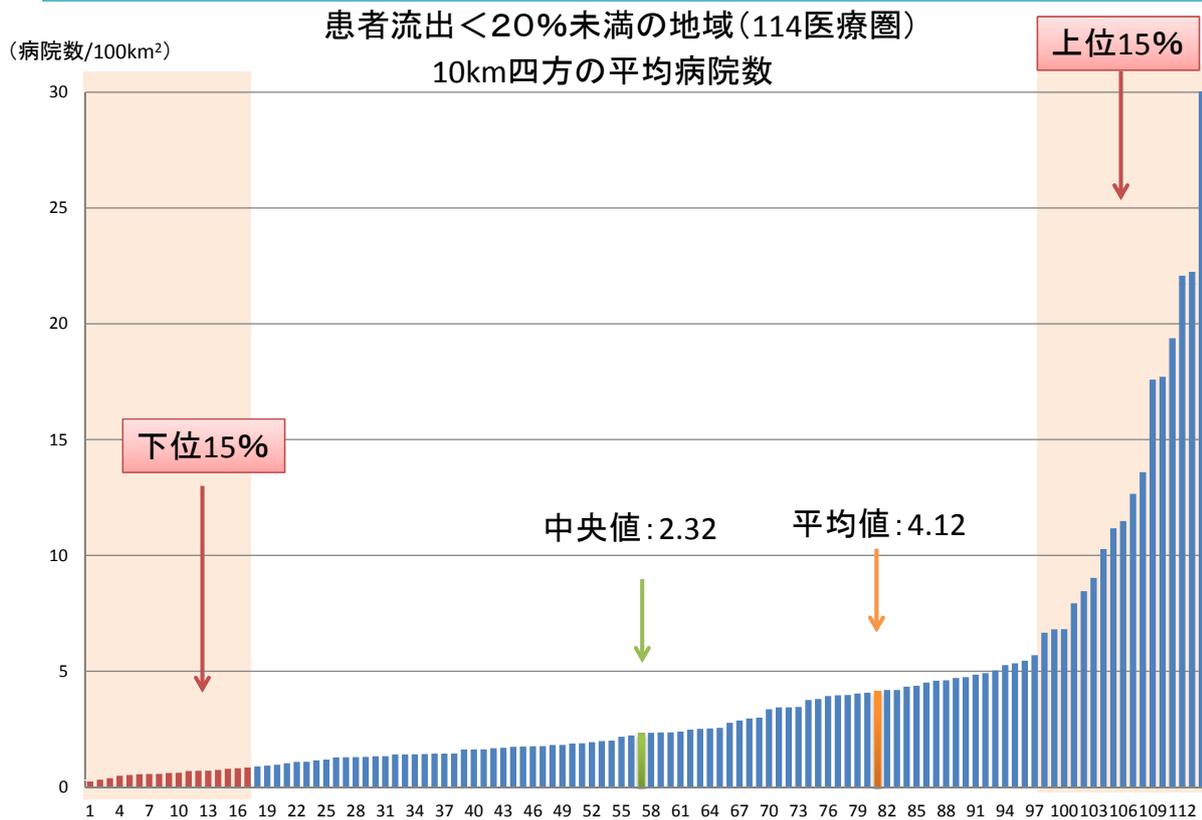
### ③医療機関が少ない地域

・病院密度(面積当たり)  
又は  
・病床密度(面積当たり)  
が一定以下

## 新たな基準による該当病院のイメージ



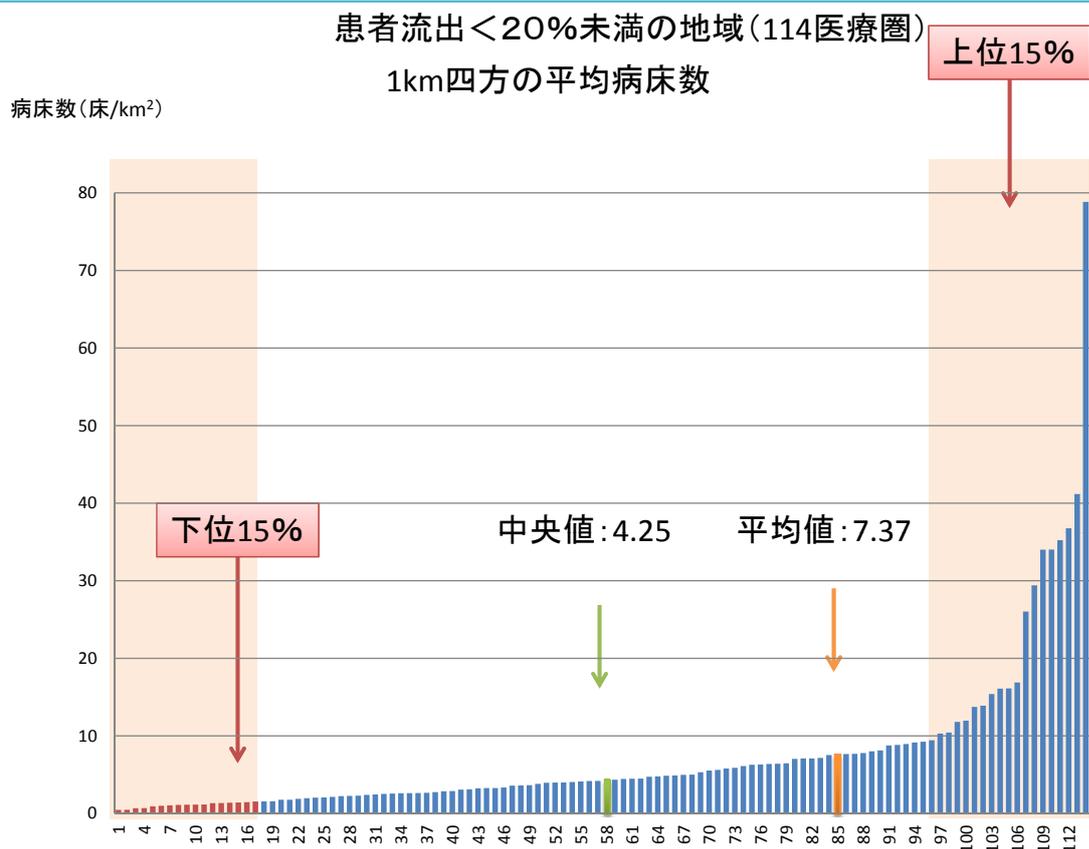
## パターン1： 面積当たりの医療機関が少ない



(2次医療圏数) 出典: 保険局医療課調べ

5

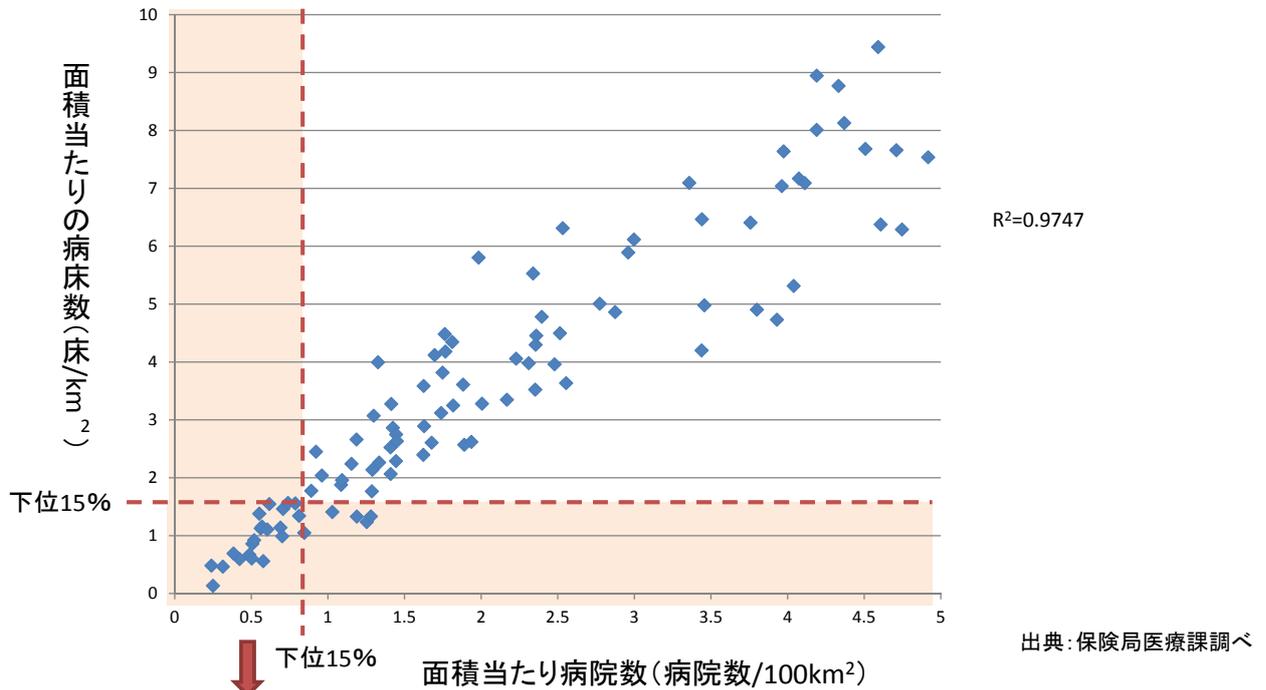
## パターン2： 面積当たりの病床数が少ない



(2次医療圏数) 出典: 保険局医療課調べ

6

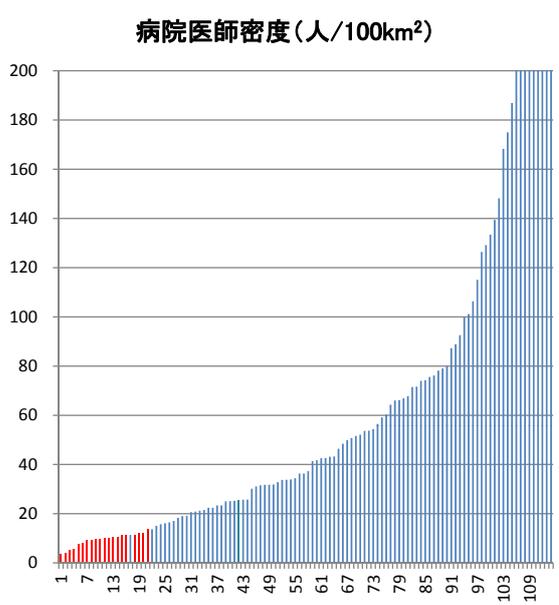
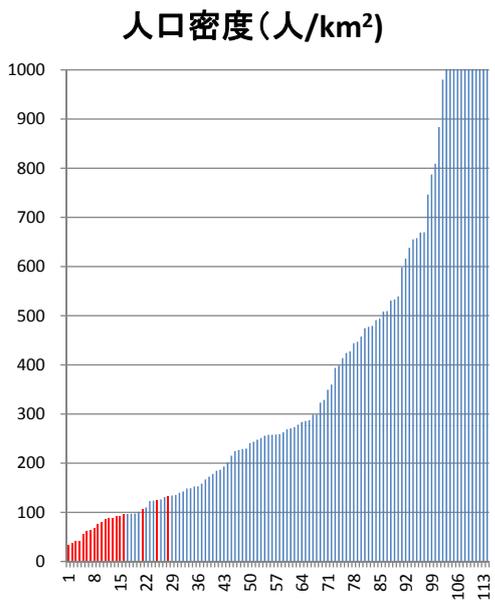
# パターン1と2の関係



病院密度又は病床密度が下位15%以下の地域 : 19医療圏

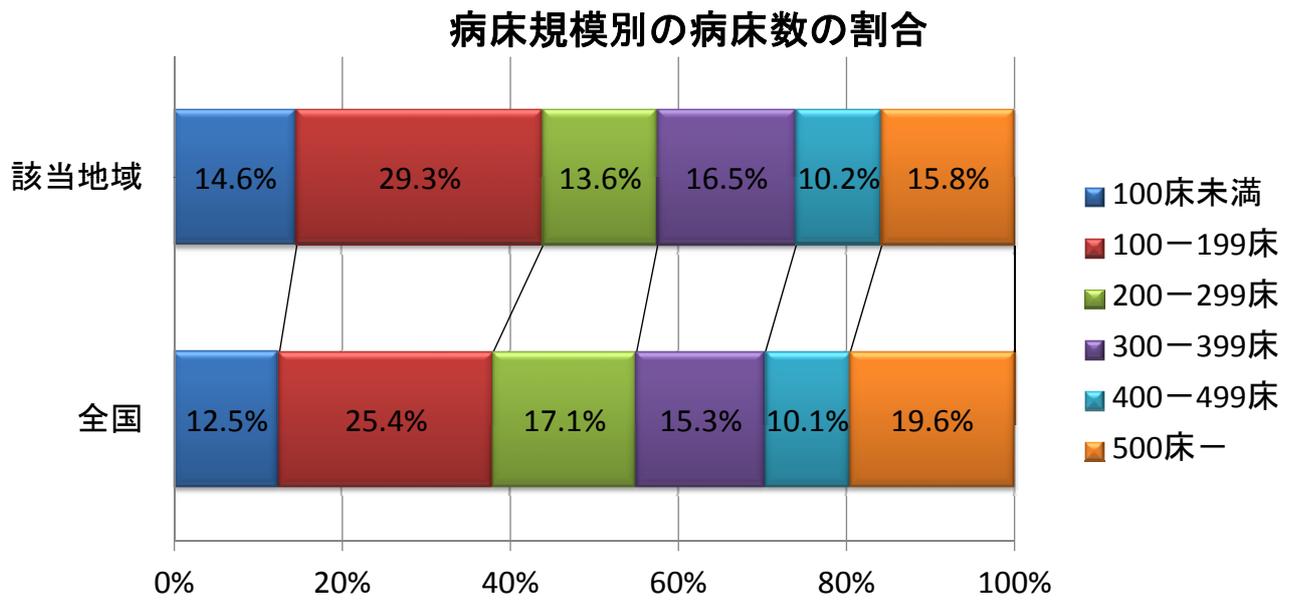
## 面積当たり病院数 又は 面積当たりの病床数が 下位15%の医療圏にある病院の特徴

患者流出<20%未満の地域(114医療圏)



人口密度、病院医師密度が特に低い医療圏に多い

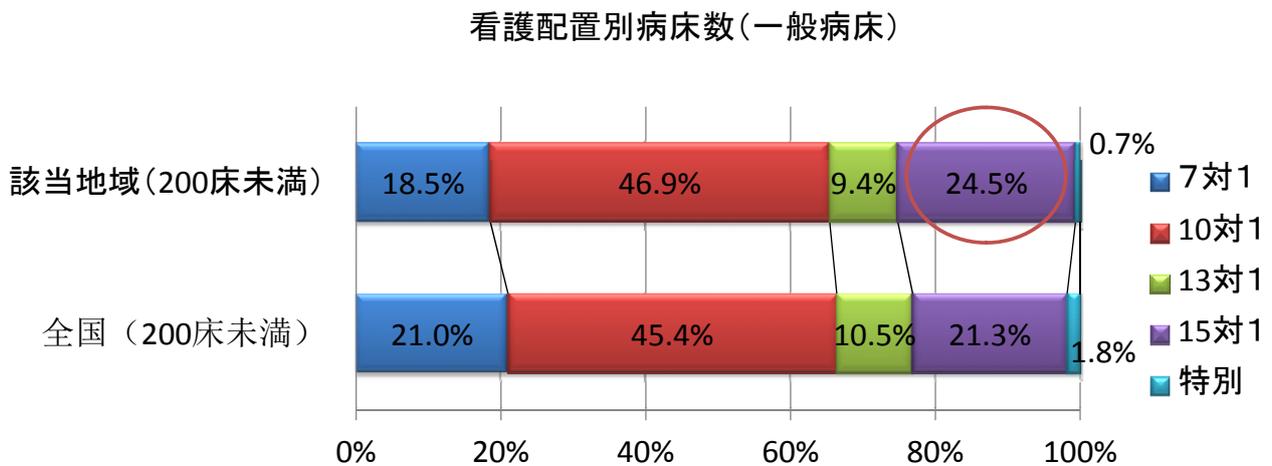
## 該当医療圏(離島を含む)にある病院の特徴①



該当地域では全国平均と比較して、特に100床未満及び100-199床の割合が高い

出典: 保険局医療課調べ 9

## 該当医療圏(離島を含む)にある病院の特徴②



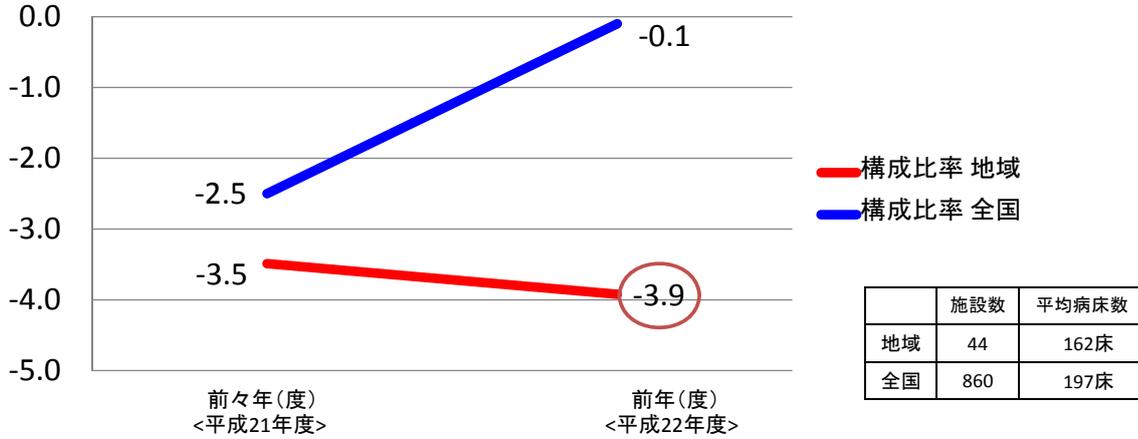
該当地域の200床未満の病院では全国平均と比較して15:1の割合が高い

出典: 保険局医療課調べ 10

# 該当医療圏の損益差額について

(地域:患者流出20%未満で面積当たり病院数又は面積当たりの病床数が下位15%の医療圏 及び 離島の医療圏)

## 損益差額 事業年度の比較



※損益差額: 医業収益+介護収益-医業・介護費用

※医療・介護収益に占める介護収益の割合が2%未満の医療機関等の集計

該当医療圏にある病院は、平成22年改定前後で低下傾向であり、全国平均と比べて収支が悪い傾向がある。

出典:第18回医療経済実態調査の報告(平成23年6月実施)  
保険局医療課調べ